



クラブ訪問 180

声を掛け合い深まる連帯感

中台中学校男子ソフトテニス部

ぼくたち中台中学校男子ソフトテニス部は、3年生6人、2年生9人で、平日の朝と放課後、休日に学校のテニスコートで活動しています。

中学のソフトテニスは、個人戦も団体戦もダブルスの試合が基本です。練習では、「フアイト、フアイト」「ナイスサーブ」「ナイスレシーブ」など声を途切らすことなく出して士気を高めています。声を出すことは、自分がボールを打たないときも仲間のプレーをしっかり見ることにつながります。サーブやレシーブ、ボレーなど各自が技術の向上を目指し練習することはもちろんですが、声を出し合うことが仲間同士の一体感を生んで、プレーへの緊張感をつくります。厳しいコースに来たボールを諦めずに追い掛けてレシーブしたり、コースを狙って鋭いスマッシュを打ったりするなどの1つ1つの練習で、気持ちを仲間と共有でき集中して取り組めます。

ソフトテニスの面白さは、パートナーと連携した早いボールの打ち合い、ゆるいボールや短いボール、ネットプレーなどで相手の守りを崩すラリーです。試合では、たとえミスが続いて負けてしまっても、お互いを気遣う前向きな声を掛け合って助け合います。



やなか 屋仲 信之介 部長(3年生)

手を抜くことなく練習に励んで、大会で良い結果を残したいです。

総合体育大会では、県大会出場を目標に、部内の連帯感をさらに深めて頑張ります。



試合を意識してサーブ練習



しっかりボールを見て

色合いの奥深さが魅力

パッチワーク友の会

わたしたち「パッチワーク友の会」は、第2・4水曜日に美郷台地区会館で、パッチワークを楽しんでいるサークルです。

もともと百貨店で開催されていたパッチワーク教室に通っていたメンバーが集まり、5年前にサークルを結成しました。

シヨルダーバッグやポーチなど、個人が作りたいたいと思っただけの作品に取り組み、講師が一人一人



作品は普段使えるものばかり

を指導してくださいます。バッグなど大きな作品は何カ月もかかり飽きてしまうので、大きさの異なる3つぐらの作品に並行して取り組みます。

パッチワークでは、作品の大きさに合わせてたくさん色や柄の布を使います。作品に合わせて布をそろえるのではなく、普段から気に入った布を買い集め、その中から使う布を選びます。

布を選ぶときは、ほとんどのメンバーが講師に相談します。思いもよらなかった組み合わせを勧めてもらえ、勉強になります。同じ形の作品でも、色や柄の組み合わせで、全く違う作品に仕上がります。自分が着る洋服では絶対に組み合わせない色や柄でも、パッチワークで組み合わせると意外と合うのが醍醐味です。

パッチワークに使う布には「キルト芯」という中綿を入れます。キルト芯を入れることで、ふんわりとした温かみのある布になります。

出来上がった作品を持って外出すると「すてきね」と声を掛けられ、とてもうれしいです。親しい人には、ティッシュケースなどの作品をプレゼントすることもあります。

メンバー同士で世間話などをしながら作業するのが毎回とても楽しみです。皆さんもわたしたちと一緒にパッチワークを楽しみませんか。



4種類の布を縫い合わせる

スクスクのびのび



青野 紗凧ちゃん(1歳)久住中央

最近歩けるようになったので、うれしくてにこにこしながら近寄って来てくれます!

鈴木 咲良ちゃん(7カ月)本三里塚

人生初の人形劇に、にこにこ大喜びでした。心豊かに育ってね!



清古 龍ノ介くん(5歳・右)公津の杜
惣也くん(1歳)

電車オタクの兄とハイハイで追い掛ける弟。仲良い兄弟になってね。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503